

Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 68



R3.7.15

今月のキーワード

リテリング活動

タブレットの活用

新学年を迎えてから3ヶ月が経ち、授業スタイルも定着してきた頃だと思います。中学校においては、今年度から新学習指導要領準拠の教科書となり、語彙や指導事項が増えたことで、授業の進め方においても更なる工夫が求められることになりました。

今回は、指導内容や方法の工夫として、リテリング活動（教科書で学んだ内容について、既習の文法事項や語句を使って表現する活動）及び一人一台タブレットの活用について考えてみたいと思います。

リテリング活動

リテリングは、十分な音読と内容理解のうえで成り立つ活動になります。また、教科書本文をそのまま暗記して言う活動ではないことに留意しましょう。以下は、インプットからアウトプットへつながる学習活動の流れです。

インプット

- ・ 題材や言語材料の導入、新出単語の確認など



内容理解

- ・ 本文の内容把握、Q-A 活動など



習得（自分のものにする、内在化）

- ・ 音読、Read & Look Up、**リテリング** など



アウトプット

- ・ 自分の考えを話す など

リテリングの際の足場掛け（例） ※どの生徒も達成できるようなスモール・ステップを考えましょう。

- ・ 生徒が自分で選んだ写真や教科書のイラストなどをとりにリテリングする。
- ・ キーワードやキープフレーズなどを教科書から書き出し、いくつかの語句を見ながらリテリングする。

苦手意識をもっている生徒には、自分なりに使える語彙や表現を駆使して取り組ませ、少しずつ分量を増やせるよう支援しましょう。

学習の進んでいる生徒には、登場人物になりきってリテリングをするなど、より高い目標を設定しましょう。（主語が3人称になると動詞の変化にも注意を払う必要があります。）



最初のうちは、前の学年で学習した単元を取り上げてリテリングしてみるなど、生徒が本文内容の理解に時間を要しないものを使ってみてはいかがでしょうか。学習した内容を整理し、自分の言葉で伝えることで、更に内容理解が深まります。



タブレットの活用



今年度になって一人一台のタブレットが貸与されましたが、授業ではどのように活用されているでしょうか。QRコードの読み取りやプレゼンテーション資料の作成、個人記録の保存など、活用は様々だと思います。以下は、動画撮影機能を使った授業例です。活用の幅を広げると同時に、指導上の留意点も確認しながら効果的な授業づくりを進めましょう。

例) ●●について互いの意見を伝え合う活動

①ペア活動(1)



②中間の振り返り



③ペア活動(2)



動画で撮影

④書く活動



⑤読む活動



<具体化する>とは・・・

話し手:「もっと、具体例を出して説明したいなあ。」「友達も、自分の意見に同意するかどうか聞きたいなあ。」「もう少しゆっくり話をした方がよかったかなあ。」など、ペア活動(1)での聞き手の反応や、自分自身を振り返って、何をどのように修正すればよいか、考える(再構築)時間を確保しましょう。



②中間の振り返り 指導上の留意点

例えば、「自分の考えをより詳しく相手に伝えるために」という目的に対して、**言語活用と内容の両面から**どのような工夫ができたか(できなかったか)振り返りをします。**何を軌道修正していけばよいかを押さえたうえで次のペア活動(2)に取り組ませることが大切です。(再構築の場面1)**

また、ペア活動(1)でうまくできている子などを紹介することも効果的です。
※中間の振り返りについて、**子どもの姿で具体化しておきましょう。**

動画をもとに、ディクテーション(書き取り)を行います。書くことで、文法や表現が適切であったか、伝えたいことは十分表現できていたかなどを見直すことができます。(再構築の場面2)

書いた英文をペアで読み合います。お互いのよさを認め合ったり、自分が書いた文に修正を加えたりすることができます。(再構築の場面3)



ペア活動の様子
(南河内中学校3年生)



夏休みなどを利用して、タブレットの機能を見直し、ぜひ授業での活用の幅を広げてください。



Keynote



Whiteboard



国語-英語
辞書
国語英語辞典



カメラ



Google Earth



道案内の単元では、このアプリが使えるかも!?

今まで作成していたワークシートの代用ができるアプリがあるかもしれません。

文責：学校教育課 稲葉 亜希恵